

九州  
「なんやん」  
Cちゃんから春秋  
The. カンパン No.10

かんくろうの右腕。左腕。シリーズ中単 『ずーの沖山の巻』

いやーなんやんは頭の固さはじかいち! (頭) 後編  
とまたすぐ調子に乗せられてしまうのほせ者の性格。おにずーの沖山は  
かんくろう軍団の中でもかなし中のかなしであった。こんな沖山にかんくろ  
うが言う! 「いくら沖山が頭が固がらなってもあのカンパンは無理よー。  
沖山とあのカンパンじゃあ カンパンの月勝ちー!! っちやうにならうら  
うハハハハ——!!」 こんなからかいの言葉にもつとも反応しせず沖山。  
完全に頭に血が昇ってしまった

なつなつなんやんはいいよるかあ。  
オレの頭ーはなあ。一番ハヤ!!  
なんでもホコホコにちせろけん  
カンパンがなんやー!!  
おリや おハやおリやー!!



どうせけと約10mの助走をして  
カンパンめがけにジャンプしたのである。  
トットトット「さー!!」



かたをな  
カンパンハイ!



オリヤ  
オヤ  
オリヤー!!!

全く何を言っているかわからな... とうとう「ギヤー!!」沖山の  
悲鳴がこぼれた。見ると何と前歯が三本きれいに抜け  
落ちていたのである。  
「歯はのんだ。歯が  
たー!!」 何と  
ジャンピングアタックした  
本折ってしまったのである。  
見事に勝った沖山。  
沖山は鉄のカンパンに  
際顔面を強打し歯を  
何という奴だ。金矢と顔の勝負。  
自分の歯を失くして... せな.....

「わーん!! ポキキキー カンパン!!」  
ずーの沖山は見事に鉄製カンパンを  
なぎ倒りにしたのである!!  
多岐は立ちあがり。  
そと静かに言うのである。  
「ど! ど! ぜんかい  
僕の頭は金矢より  
固いんぞー。スス  
見たい。スススッ  
かたがた 11うなら。」  
見・見たかい。えー?  
僕の頭は金矢より  
僕の頭は鋼鉄の  
スーパーハットぞー。  
もう11の10ん スーカほしたろが?



「いやー!! 沖山君!! 沖山さん!!」  
あははははははははは。おっはちかたん参りました  
そこのは何が大きな事をやりつけた人のカンパシの姿か  
あった。とてこのカンパシをとり囲み。素直に賞賛する。  
若人達の姿があった。(この若人達は実はカンパシなのである)  
沖山はつめた。「今日は気分が良かけん、ラーメンはあごころ  
かなー!! えっ? どまはんかい。ラーメン食せやあ?  
食うあうあれ口々? 何かおいしい。沖山の発音が急に  
きまじくなった。しかも毎字毎字赤ちゃん言葉になつたりする。  
とてとうとう「おまーさ つかつか フアヒフアヒー!!」

